

○計画期間:令和2年4月～令和7年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点（令和5年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市では、第1期計画（平成22年11月～平成26年度）において、川西能勢口駅周辺の商業施設のリニューアル、イベントの実施などを行い、第2期計画（平成27年度～令和元年度）では、中央北地区特定土地区画整理事業によりキセラ川西せせらぎ公園、文化ホールや福祉・保健・公民館機能が連携した複合施設、民間の大型商業施設などのキセラ川西地区の整備を進めてきた。第3期計画では、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性の向上や、働く場所や魅力的な場所を増やすことで様々な人が活躍する中心市街地を創造し、持続可能なにぎわいにつなげることを目標としている。

令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ緩和したため、ソフト・ハード両面において様々な取組を展開した。

ソフト事業では、令和3年度に引き続き、川西能勢口駅の南側ペDESTリアンデッキをイベント活用する社会実験を10回開催した他、他主体によるデッキ活用イベントも行われ、パブリックスペース活用の動きが広がってきている。また、川西能勢口駅東側の藤ノ木さんかく広場では、イベント利用、キッチンカー出店による広場利用日数が年間266日あり、利用率は72%となった。これは令和3年度より10%上昇しており、にぎわい拠点として大いに機能している。

ハード事業では、(仮称)市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業、花屋敷団地建替事業及び道路整備事業2事業が完了する等、インフラ整備が大きく進展しており、まちの利便性が向上している。これらの都市機能の増進により、居住人口、地価ともに顕著に上昇しており、今後においても居住や出店ニーズの高まりが期待される。

引き続き、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区を合わせた中心市街地のにぎわいづくりを推進するため、新規出店や起業家の支援、交流拠点の運営により多くの人々が活躍するまちとしての魅力を高めるとともに、清和源氏まつりの開催や各商業施設、イベント主催者などとの連携により回遊性の向上を図る。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地 区域)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
人口	8,769	8,763	9,116	9,124		
人口増減数	-32	-6	353	8		
自然増減数	-57	-46	-41	-65		
社会増減数	33	32	415	111		
転入者数	395	403	674	493		

(2) 年間販売額 (小売業)

(単位：百万円)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
市全体	133,905	133,905	133,905	133,905	133,905		
中心市街地	45,645	45,645	45,645	45,645	45,645		

※最新値である「経済センサス活動調査 (平成28年度)」より。

(3) 商店数 (小売業)

(単位：件)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
市全体	655	655	655	655	655		
中心市街地	192	192	192	192	192		

※最新値である「経済センサス活動調査 (平成28年度)」より。

(4) 事業所数 (宿泊業・飲食サービス業)

(単位：件)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
市全体	502	502	502	502	502		
中心市街地	144	144	144	144	144		

※最新値である「経済センサス活動調査 (平成28年度)」より。

(5) 地価(単位：円/m²)

(中心市街 地域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
相 続 税 路線価平均	—	—	238,750	247,500	258,750		
アステ川西 東 側	340,000	380,000	420,000	440,000	450,000		
県道12号線 川西市役所 西交差点北	210,000	215,000	235,000	240,000	245,000		
川西市役所前 交 差 点 北	165,000	170,000	185,000	185,000	185,000		
豊川橋山手線 (オアシス タウン南)	—	—	115,000	125,000	155,000		
地価公示平均	359,000	394,000	430,000	448,500	463,000		
川 西 5 - 1	445,000	500,000	550,000	575,000	593,000		
川 西 5 - 4	273,000	288,000	310,000	322,000	333,000		

※調査基準日：各年1月1日、公表：地価公示3月下旬、相続税路線価：7月1日

※豊川橋山手線(オアシスタウン南)の相続税路線価：平成30年度及び令和元年度は路線価算定対象外。

2. 令和4年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和4年度、中心市街地活性化協議会では、関係団体等と協議・調整を重ねながら、様々な提案や実施を行った。

令和4年度は、(仮称)市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業、花屋敷団地建替事業及び道路整備事業2事業が完了する等、インフラの整備が進み、この影響が地価の上昇にもつながっているとみられる。また、これらの影響から、今後、来街者・居住人口ともに増加が予想される。

中心市街地空き店舗等出店支援補助金では、複数の飲食店・小売店の魅力の向上を支援し、コワーキングスペース開設支援補助金では中央町内に立地する施設の運営を支援した。これらの取り組みにより中心市街地への来街目的が増加し、まちの魅力が向上している。

歩行者・自転車通行量(休日)は、全体で見ると令和3年度から微増となった。地点別にみると「駅前ピクニックマルシェ」と題して当協議会主催で社会実験を計10回開催したことや、他主体によるデッキ活用イベントが行われたこともあり、川西能勢口駅南の歩行者デッキでは、通行量が本計画期間で最高値を記録した。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による行動様式の変化が見られ、基準値の水準まで回復していない地点もある。

今後、当協議会や中活事業の実施体制の再構築を進め、地域の事業者・商業施設・関係団体・市民の参加促進と連携強化を図り、まちなぎわいの創出、商業の活性化に取り組む。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する	歩行者・自転車通行量（休日）	44,177 人/日 (H30)	46,547 人/日 (R6)	44,862 人/日 (R4)	B	①	①
	中心市街地の居住人口の社会増	126 人/年 (H27-30 平均)	194 人/年 (R2-6 平均)	186 人/年 (R2-6 平均)	B	①	①
魅力ある場所や、活躍する人が生まれるまちを創造する	新規起業者数	4 人/年 (H30)	22 人/年 (R6)	6 人/年 (R4)	B	①	①
	新規出店数	5 店/年 (H30)	23 店/年 (R6)	35 店/年 (R4)	A	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「歩行者・自転車通行量（休日）」の合計は、昨年度と比較すると微増しており、新型コロナウイルス感染症以前の数値である基準値を上回った。

地点ごとにみると、アステ川西南側の歩行者デッキは、川西能勢口駅と川西池田駅の乗り換えが多い地点であるが、新型コロナウイルス感染症による行動様式の変化の影響もあり、新型コロナウイルス感染症以前の数値である基準値の水準まで戻っていない。一方で、川西能勢口駅南側の歩行者デッキでは、「駅前ピクニックマルシェ」の定期的な実施で来場者が着実に増加して滞留を生んでおり、令和3年度の数値より上昇し、本計画期間で最高値を記録した。

また、キセラ川西地区の2地点は、商業施設の充実、（仮称）市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業の完了や令和3年度に9棟完成した民間マンションへの入居が進んだことから、歩行者・自転車通行量は増加した。

令和5年度以降、多様な主体によるペDESTリアンデッキ活用やインフラの充実による居住人口及び来街者の増加に伴い、歩行者・自転車通行量は目標値に達すると見込んでいる。

「中心市街地の居住人口の社会増」は、令和4年度はキセラ川西地区の民間マンションの建設がいったん落ち着いたため、人口の社会増は令和3年度より減少し、目標値を下回ったが、令和4年度に花屋敷団地建替事業が完了しており、居住者の転入による社会増が見込まれるため、今後目標達成は可能と見込まれる。

「新規起業者数」は、原油価格高騰によるガス、電気料金の上昇や原材料等の高騰の影響もあり、令和3年度より減少し、目標値の半数以下の数値に留まった。今後、各事業やコワーキングスペ

一スの周知をさらに進めながら、中心市街地空き店舗等出店支援事業や中心市街地起業者支援事業を継続して実施することで、目標達成は可能と見込まれる。

「新規出店数」は、中心市街地空き店舗等出店支援事業の効果もあり、令和3年度に引き続き、新規出店数が増加し、目標値を大きく上回った。令和5年度も継続して各事業を実施することで新規出店数は増加すると見込んでいる。

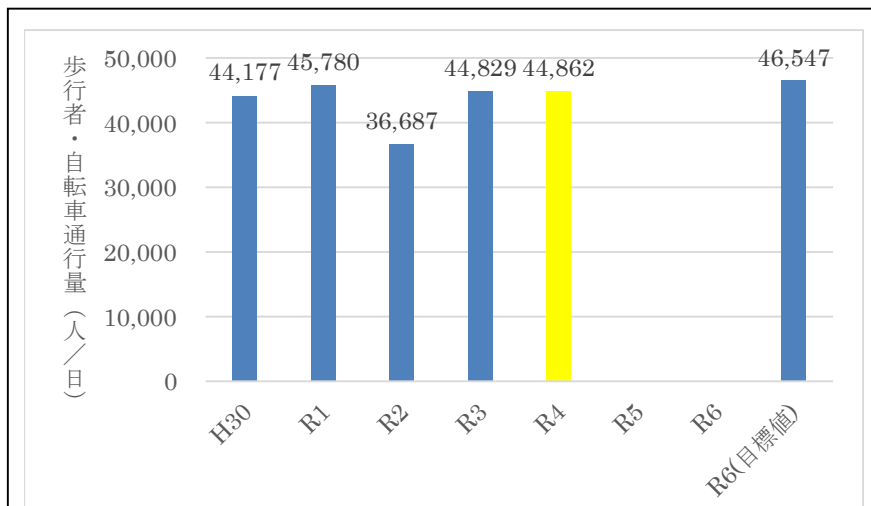
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

見通しの変更がないため、記載なし。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「歩行者・自転車通行量(休日)」※目標設定の考え方認定基本計画 P.75~P.79 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	44,177 人/日 (基準年値)
R1	45,780 人/日 (計画前年度)
R2	36,687 人/日
R3	44,829 人/日
R4	44,862 人/日
R5	
R6	46,547 人/日 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査

※調査月：毎年10月実施

※調査主体：川西市中心市街地活性化協議会

※調査対象：中心市街地における休日6地点の歩行者及び自転車数

【歩行者・自転車通行量調査地点】



(単位：人)

	平成30年度 (基準年)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
地点①	11,120	11,220	9,162	10,800	10,629		
地点②	20,924	20,547	17,751	22,803	23,247		
地点③	2,039	2,718	2,832	3,135	2,973		
地点④	1,934	2,847	2,544	3,117	2,922		
地点⑤	—	—	1,953	1,251	1,371		
地点⑥	—	—	2,445	3,723	3,720		
合計	36,017	37,332	36,687	44,829	44,862		

※地点⑤、地点⑥は令和2年度から新たに追加したため、平成30年度と令和元年度は空白。

〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量の増加に向けた各事業の進捗は、概ね予定どおり進んでいる。

歩行者・自転車通行量の合計は昨年度と比較すると微増しており、新型コロナウイルス感染症以前の数値である基準値を上回った。

地点①のアステ川西南側の歩行者デッキでは、微減しており、新型コロナウイルス感染症による行動様式の変化の影響もあり、新型コロナウイルス感染症以前の数値である基準値の水準まで戻っていない。一方で、②の川西能勢口駅南の歩行者デッキでは、デッキ上で音楽や食事、雑貨販売を行う社会実験「駅前ピクニックマルシェ」の定期的な実施で来場者が着実に増加して滞留を生んでおり、令和3年度の数値より上昇し、本計画期間で最高値を記録した。

地点⑤・⑥は、キセラ川西地区の活性化の状況を測るため、令和2年度から新規追加した地点である。(仮称)市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業の完了や令和3年度に9棟完成した民間マンションへの入居が進んだことから、歩行者・自転車通行量は増加した。

令和5年度以降、多様な主体によるペDESTリアンデッキ活用やインフラの充実による居住人口及び来街者の増加に伴い、歩行者・自転車通行量は目標値に達すると見込んでいる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 51：グリーンスローモビリティ導入事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性向上を図るために、グリーンスローモビリティの運行について検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】640人増加 【最新値】現在算定0人増加 令和4年度は、まちなか滞留実感調査（インタビュー調査）を行った結果、約75%が無料なら利用する又は利用しないと回答し、現状ニーズが低い。
事業の今後について	市内公共交通に係る検討と協調して進める必要があるため、地域公共交通計画の策定に合わせて、中心市街地の回遊性のための交通のあり方を検討し、効果的な交通施策の実現を目指す。

②. 6：(仮称)市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【済】 [認定基本計画：令和2年度～令和4年度]
事業概要	将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくため、市北部から市立川西病院を移設する。その結果としてキセラ川西地区の都市機能が増進することで、安心して暮らせるまちを創造する。
国の支援措置名及び支援期間	公立病院の再編・ネットワーク化に関する財政措置（総務省）（令和2年度～令和4年度） [認定基本計画：公立病院の再編・ネットワーク化に関する財政措置（総務省）（令和2年度～令和4年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】2,700人増加 【最新値】現在算定550人増加 令和2年度からキセラ川西地区にて建築工事を施工し、令和4年9月に開院した。
事業の今後について	地域の基幹病院として周辺医療機関と連携し、地域包括ケアシステムの構築を目指す。また、小児・救急・周産期等の政策医療を担うとともに、市内に不足している高度急性期医療の一部を担う。

③. 10:花屋敷団地建替事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【済】
事業概要	老朽化が進む花屋敷団地の建て替えを行い魅力的な景観など、住環境を向上させることで、新たな居住者が入居し、定住人口の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業））（国土交通省）（令和元年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 $(60 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人}) \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 420 \text{ 人増加}$ 【最新値】 $83 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人} \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 579 \text{ 人増加}$ 当初の計画通り、令和4年度に2次本移転が完了し、10月末に竣工した。
事業の今後について	計画通り令和4年度で事業が完了した。今後は、空室の入居を進め、居住者の増加によるにぎわいの創出に寄与する。

④. 11：民間マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の未利用地に民間のマンションが整備されることで、中心市街地の居住人口の増加を図り、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】(80戸×2.42人)×48.1%×3×2≒560人増加 【最新値】(174戸×2.42人)×48.1%×3×2≒1,215人増加 キセラ川西地区での民間マンションの建設はいったん落ち着き、令和4年度は中心市街地に新たに完成した民間マンションは1棟であった。
事業の今後について	キセラ川西地区の民間マンションの建設はいったん落ち着いたものの、中心市街地の地価の上昇にも反映されているように、中心市街地の土地としての価値は上昇しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれる。

⑤. 25：藤ノ木さんかく広場北側ポケットパーク活用事業（民間事業者、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	藤ノ木さんかく広場と隣接しているポケットパークを道路管理者と連携し、広場の利用と合わせて一体的に活用することで相乗的なにぎわい創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,200人増加 【最新値】基準年比地点③934人+地点④988人=1,922人増加 藤ノ木さんかく広場北側ポケットパークの活用を検討するためのイベントを1回実施し、延べ参加者数は1,000人であった。また、北側ポケットパークを活用したイベント実施を、より円滑かつ効果的に行うため、北側ポケットパークを認定道路区域外とした。このことにより普通財産として藤ノ木さんかく広場とより一体的に活用できるようになった。
事業の今後について	藤ノ木さんかく広場北側ポケットパークが普通財産となったことで、藤ノ木さんかく広場とより一体的な活用が見込まれる。

⑥. 24:ペDESTロリアンデッキにぎわい活用事業（民間事業者、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	歩行者は多いもののこれまで有効活用されていなかった川西能勢口駅と駅前商業施設をつなぐ道路空間で道路管理者と連携し、にぎわいイベントを実施することで、周辺施設への集客や来街者の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】500人×2地点×2回≒2,000人増加 【最新値】基準年比地点①491人+地点④988人=1,479人増加 川西市中心市街地活性化協議会が「駅前ピクニックマルシェ」などの路上イベントを16件の道路占用許可を受けて開催した。また、募集したイベント実施団体や民間事業者、3団体が7件の道路占用許可を受けてイベントを開催することができた。 また、初の試みとして、「川西駅前ピクニックテラス」を実施し、椅子づくりワークショップで作成した椅子をデッキ上に設けることでデッキを開放し、滞留を促した。
事業の今後について	令和5年度は、川西市中心市街地活性化協議会が「駅前ピクニックマルシェ」を計11回開催予定である。また、さらなる賑わいの拡大・定着を図るため、単独出店を試行するなど、新たな活用の裾野を拡げる。 さらに、今後のペDESTロリアンデッキでのイベント開催について、道路管理者と「路上イベントに関するガイドライン（案）」策定するため、引き続き協議を進めていく。

⑦. 3:都市計画道路豊川橋山手線整備事業（川西市）

事業実施期間	平成26年度～令和4年度【済】
事業概要	キセラ川西地区から絹延橋を結ぶ道路及び歩道の拡幅に合わせ、踏切拡幅することで、通行の安全確保とキセラ川西地区へのアクセス向上を図り、中心市街地全体の回遊性向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（平成26年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和2年度比地点⑥1,275人増加 過年度に引き続き、道路拡幅工事を実施した。令和4年7月に工事を完了し、供用開始した。
事業の今後について	近隣小学校への通学路として、通学児童の安全を確保するとともに、キセラ川西地区への接続道路として、まちの活性化に寄与する。

⑧. 4:市道 1313 号（日高町地内）改良事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和 4 年度【済】
事業概要	市道 1313 号の道路拡幅を行うことで、歩行者等の快適な通行と安全・安心な空間を創出することで、中心市街地の交通環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業）（国土交通省）（令和 2 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点⑤▲582 人増加 過年度に引き続き、歩道整備工事を実施した。令和 4 年 9 月の市立総合医療センターの開院に合わせて、工事を完了した。
事業の今後について	市立総合医療センターへのアクセス道路として来院する方の安全確保及び緊急車両等の円滑な交通の確保を担う。

⑨. 5:市道 3 号（中央町地内）改良事業（川西市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 6 年度【実施中】
事業概要	都市計画道路鶴之荘花屋敷線の歩道整備を行うことで、歩行者等の快適な通行と安全・安心な空間を創出することで、中心市街地の交通環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点③934 人増加 過年度に引き続き、道路拡幅工事を実施した。令和 5 年 3 月に工事を完了した。
事業の今後について	令和 5 年度は未整備区間の用地交渉を行い、事業用地の確保に努める。

⑩. 55:清和源氏まつり（清和源氏まつり実行委員会、川西市観光協会、川西市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史的な観光行事「清和源氏まつり」をキセラ川西せせらぎ公園など中心市街地において実施することで、中心市街地ににぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和2年度比地点③141人増加 観覧者数：2万人 （R4年4月開催時実績7,000人）
事業の今後について	R4年4月開催時の実績は新型コロナウイルス感染症の影響により、せせらぎ公園イベントが中止となったため、目標値より大幅減となった。今後はせせらぎ公園での出店やステージイベントを開催し、観覧者数の増加と中心市街地でのにぎわいの創出を目指す。

⑪. 60:駅前中心市街地活動拠点整備運営事業（川西市中心市街地活性化協議会、川西市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	川西能勢口駅前の市民トイレを改修し、活動拠点を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（令和4年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度に川西能勢口駅前にある市民トイレを改修し、中心市街地のイベント情報の集約・発信やプレイヤーの活動拠点とする整備事業が完了した。
事業の今後について	活動拠点を運営し、中心市街地内の各活動の活性化を図る。また、ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業と連携し、相乗的にぎわい創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

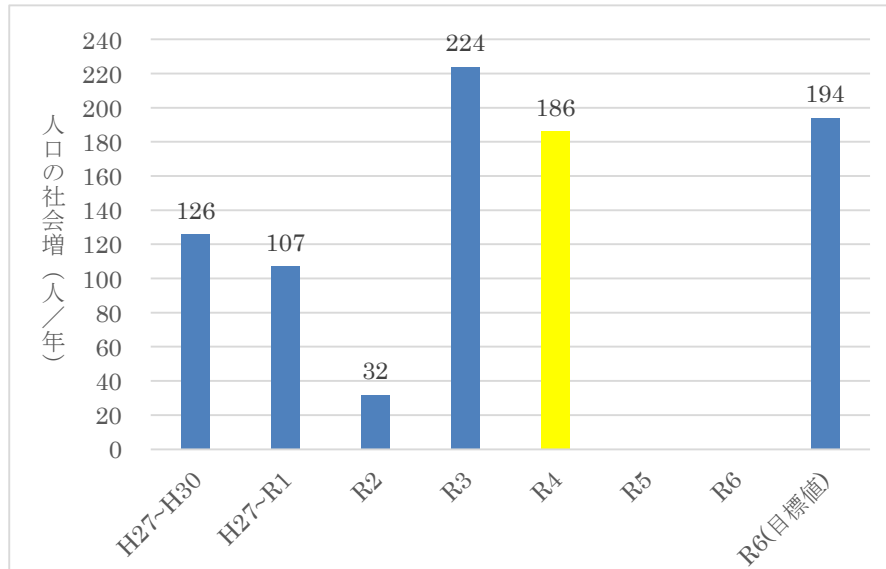
歩行者・自転車通行量の増加に向けた事業について、主要事業は概ね予定通り進んでいる。ペDESTリアンデッキでは、中心市街地活性化協議会が主催するイベントを継続的に実施した他、他主体によるデッキ活用イベントも行われ、歩行者通行量の増加に寄与した。今後多様な主体のデッキ活用を促進することで、駅前のにぎわいの創出及び歩行者通行量の増加につなげていく。

また、令和4年度は、（仮称）市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業及び道路整備事業2事業が完了しており、生活インフラの充実が、通行量の増加にもつながっている。

今後は、川西能勢口駅前とキセラ川西地区をつなぐエリアの空き店舗への新規出店や、交通利便性向上の検討に取り組む。

(2)「中心市街地の居住人口の社会増」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 80～P. 81
参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	126 人/年 (H27~H30 平均) (基準年値)
R1	107 人/年 (H27~R1 平均) (計画前年度)
R2	32 人/年 (R2~R6 平均)
R3	224 人/年 (R2~R6 平均)
R4	186 人/年 (R2~R6 平均)
R5	
R6	194 人/年 (R2~R6 平均) (目標値)

※調査方法：住民基本台帳データから毎年度の人口社会増を集計

※調査月：毎年3月31日現在

※調査主体：川西市

※調査対象：中心市街地エリア

〈分析内容〉

中心市街地の居住人口の社会増に向けた各事業は、予定通り進んでいるが、令和4年度はキセラ川西地区の民間マンションの建設がいったん落ち着いたため、人口の社会増は令和3年度より減少し、目標値を下回った。対象10地域を地域別に分けて傾向をみると、火打1丁目が最も大きな社会増を計上しており、令和3年度に民間マンションが9棟完成したことが主要因と考えられる。

ただし、令和4年度に花屋敷団地建替事業が完了しており、今後、居住者の転入による社会増が見込まれる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 10:花屋敷団地建替事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【済】
事業概要	老朽化が進む花屋敷団地の建て替えを行い魅力的な景観など、住環境を向上させることで、新たな居住者が入居し、定住人口の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業））（国土交通省）（令和元年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】60戸×2.42人≒146人 【最新値】83戸×2.42人×48.1%×3×2≒579人増加 当初の計画通り、令和4年度に2次本移転が完了し、10月末に竣工した。
事業の今後について	計画通り、令和4年度で事業が完了した。今後は、空室の入居を進め、居住者の増加によるにぎわいの創出に寄与する。

②. 11:民間マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の未利用地に民間のマンションが整備されることで、中心市街地の居住人口の増加を図り、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】80戸×2.42人≒194人 【最新値】174戸×2.42人≒421人 キセラ川西地区での民間マンションの建設はいったん落ち着き、令和4年度は中心市街地に新たに完成した民間マンションは1棟であった。
事業の今後について	キセラ川西地区の民間マンションの建設はいったん落ち着いたものの、中心市街地の地価の上昇にも反映されているように、中心市街地の土地としての価値は上昇しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれる。

③. 7:川西北幼稚園・川西北保育所の一体化施設整備（川西市）

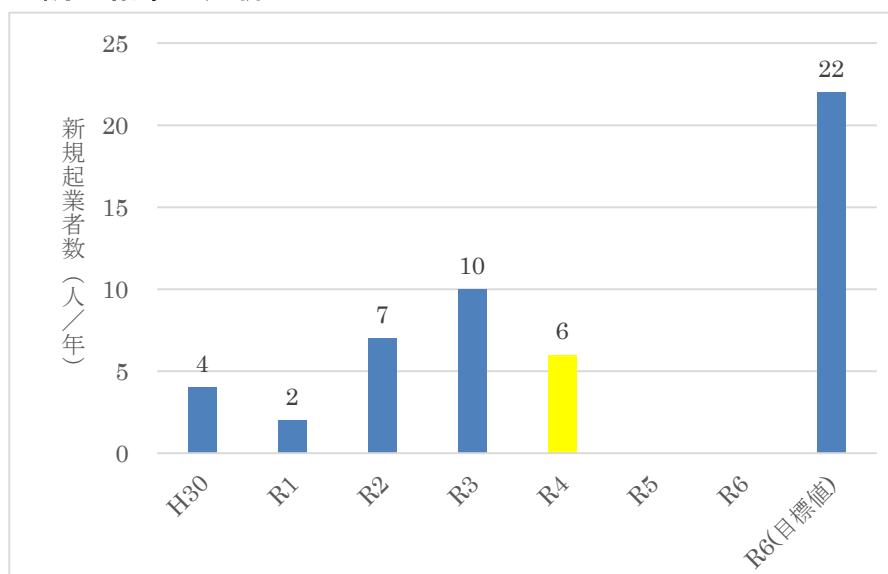
事業実施期間	令和元年度～令和3年度【済】
事業概要	質の高い教育・保育サービスを提供するため、川西北幼稚園と川西北保育所の一体化を進め、幼保連携型認定こども園を整備することで、子育て世代を中心市街地に呼び込み、定住人口の増加をめざす。
国の支援措置名及び支援期間	学校施設環境改善交付金（令和2年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】まちなか滞留・実感調査 令和2年度比 「ここで暮らしてみたいと感じる」1.6%増加 令和4年4月1日より、川西市立川西北こども園（幼保連携型認定こども園）を開設することができた。
事業の今後について	本一体化施設整備については完了となったが、子育て世代の利用を促進し、定住人口の増加に努めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

人口の社会増に向けた主要事業は予定通り進捗しており、令和4年度は新たに、花屋敷団地建替事業が完了し、今後順次居住者へ引き渡されることで、花屋敷1丁目の市内転居者の増加が見込まれる。また、令和4年度の中心市街地で完成した民間マンションは1棟のみであったが、中心市街地の地価の上昇にも反映されているように、土地としての価値は上昇しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれ、引き続き転入者が増加することが予想されることから、目標は達成可能と見込まれる。

（3）「新規起業数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 82～P. 83 参照

●調査結果と分析



年	（単位）
H30	4人 （基準年値）
R1	2人 （計画前年度）
R2	7人
R3	10人
R4	6人
R5	
R6	22人 （目標値）

※調査方法：経済センサスによる調査、市及び市商工会での聞き取り調査

※調査月：毎年3月31日現在

※調査主体：川西市

※調査対象：中心市街地エリアにおける小売業及び宿泊・飲食サービス業で新規に起業した者

〈分析内容〉

コワーキングスペース運営支援事業及び中心市街地空き店舗等出店支援事業等で、新規起業家への支援を行うことにより、新規起業家を着実に輩出しているが、原油価格高騰によるガス、電気料金の上昇や原材料等の高騰等により、新規起業家数は令和3年度より減少し、目標値の半数以下の数値に留まった。

今後も、中心市街地が新たな活力が生まれる場所、育まれる環境となるよう継続して事業を実施することで、新規起業家数の増加が見込まれる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 21:コワーキングスペース運営支援事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	起業をめざしている者や既に起業している者などが集まれる場を提供することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出し、中心市街地の活力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（総務省）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】利用者数500人×想定企業割合2%=10件 【最新値】883人×2%=17件 令和4年度は前年度に「コワーキングスペース開設支援事業」として採択した事業者に、家賃や人件費、通信回線使用料の一部を補助を行い、コワーキングスペースの運営を支援した。
事業の今後について	令和5年度も引き続き家賃等の費用の一部を補助することで、当スペースの運営を支援し、起業家の増加や継続・発展の場の充実につなげるとともに、補助金終了後の安定的な施設運営に向けて事業者と協議を行う。

②. 13: 中心市街地空き店舗等出店支援事業（川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】出店支援対象者＝年間3件 【最新値】新規出店者＝年間2件 中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後から1年分の家賃の一部を補助する「中心市街地空き店舗等出店支援補助金」を実施し、5件の事業者を採択し、補助を実施した。
事業の今後について	引き続き中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後に1年分の家賃の一部を補助し、新規起業者数の増加につなげていく。

③. 14: 中心市街地起業者支援事業（川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で新たに起業する者、起業間もない者に対し、セミナーの実施や、悩み相談などのフォローアップを行うことで、事業継続への支援を行い、まちで活躍する人を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（総務省）（令和2年度） [認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】起業塾参加者20人×25%＝5件 【最新値】6件 オンラインを活用したセミナーを中心に、8名の塾生がセミナーを通じて起業に必要な知識を身に付けた。また起業入門セミナーは、女性限定でなく、男性も対象とすることで、性別に関係なく起業希望者の支援を行った。
事業の今後について	引き続き起業セミナーを開催し、起業を希望する者の支援を行っていく。また、過去の塾生を対象としたスキルアップセミナーやフォローアップ面談を行うことで、新規起業者の増加につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

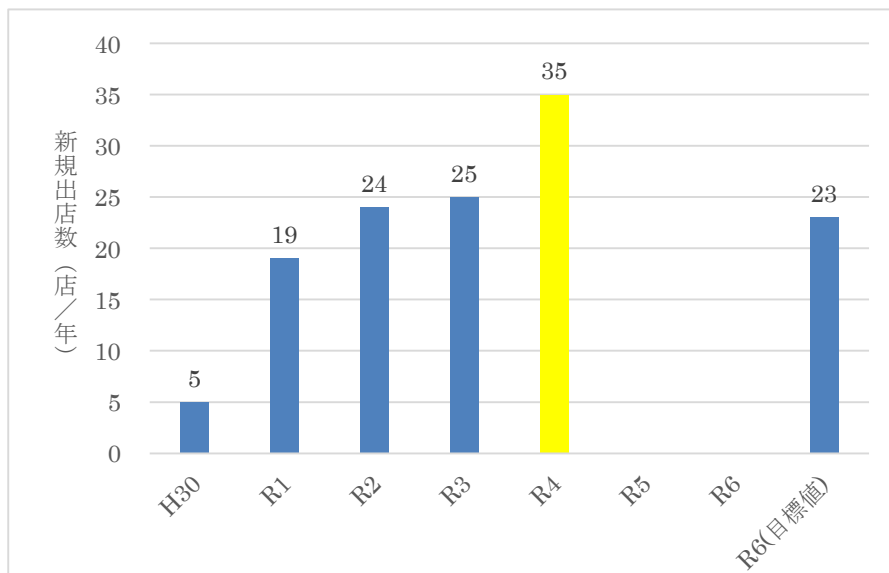
中心市街地空き店舗等出店支援事業を実施し、中心市街地区域内において2件の新規店舗の工事費及び3件の家賃を補助した。また、市や商工会で実施した起業支援事業セミナーを通じて6

人の新規起業者が誕生した。

今後、各事業やコワーキングスペースの周知をさらに進めながら、中心市街地空き店舗等出店支援事業や中心市街地起業者支援事業を継続して実施することで、目標達成は可能と見込まれる。

(3) 「新規出店数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 85 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	5 店 (基準年値)
R1	19 店 (計画前年度)
R2	24 店
R3	25 店
R4	35 店
R5	
R6	23 店 (目標値)

※調査方法： 川西市商工会及び川西市中心市街地活性化協議会への聞き取り調査及び目視調査

※調査月： 毎年3月31日現在

※調査主体： 川西市

※調査対象： 中心市街地エリアにおける小売業及び宿泊・飲食サービス業で新規に出店した者

〈分析内容〉

中心市街地空き店舗等出店支援事業や中心市街地起業者支援事業の効果もあり、令和3年度に引き続き、新規出店数が増加し、目標値を大きく上回った。令和5年度も継続して各事業を実施することで新規出店数は増加すると予想される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 21:コワーキングスペース運営支援事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	起業をめざしている者や既に起業している者などが集まれる場を提供することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出し、中心市街地の活力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（総務省）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】利用者数 500 人×想定企業割合 2%=10 件 【最新値】883 人×2%=17 件 令和4年度は前年度に「コワーキングスペース開設支援事業」として採択した事業者に、家賃や人件費、通信回線使用料の一部を補助を行い、コワーキングスペースの運営を支援した。
事業の今後について	令和5年度も引き続き家賃等の費用の一部を補助することで、当スペースの運営を支援し、起業者の増加や継続・発展の場の充実につなげるとともに、補助金終了後の安定的な施設運営に向けて事業者と協議を行う。

②. 13:中心市街地空き店舗等出店支援事業（川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】出店支援対象者＝年間3件 【最新値】新規出店者＝年間2件 中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後から1年分の家賃の一部を補助する「中心市街地空き店舗等出店支援補助金」を実施し、5件の事業者を採択し、補助を実施した。
事業の今後について	引き続き中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後に1年分の家賃の一部を補助し、新規起業数増加につなげていく。

③. 14: 中心市街地起業者支援事業（川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で新たに起業する者、起業間もない者に対し、セミナーの実施や、悩み相談などのフォローアップを行うことで、事業継続への支援を行い、まちで活躍する人を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（総務省）（令和2年度） [認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】起業塾参加者20人×25%=5件 【最新値】6件 オンラインを活用したセミナーを中心に、8名の塾生がセミナーを通じて起業に必要な知識を身に付けた。また起業入門セミナーは、女性限定でなく、男性も対象とすることで、性別に関係なく起業希望者の支援を行った。
事業の今後について	引き続き起業セミナーを開催し、起業を希望する者の支援を行っていく。また、過去の塾生を対象としたスキルアップセミナーやフォローアップ面談を行うことで、新規起業者の増加につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地空き店舗等出店支援事業により、小売業、飲食業の出店支援したことで、目標を大きく上回る35件の新規出店があった。令和5年度は、各事業の周知を進めながら継続して実施することで、更なる増加につなげていく。